

しらうめ会報

令和4年3月1日



明秀学園日立高等学校同窓会

〒317-0064 茨城県日立市神峰町3丁目2番26号

TEL 0294 (21) 6328(代)

新しい生活を求めて



同窓会会長 神山 千恵子

本日この白梅を皆様にお届けできることは大変な喜びです。思えばこの2年間は新型コロナウイルスに翻弄され続け、いつ以前の生活に戻れるか全く見通せない暮らしを余儀なくされてきました。そのような中で無観客でありましたが東京オリンピック・パラリンピックは希望を見せてくれる瞬間でした。しらうめ会の活動も2年間続けて役員会、総会、研修会など延期、中止に追い込まれてきました。しかし、この間、校内役員の皆様、担当教職員の皆様には、私たち役員に丁寧に連絡を頂き、会計担当事務処理を遺漏なく進めて頂き、感謝に堪えません。今また、オミクロン株による感染爆発により、今年もまた制約の年になるのかという不安に駆られる今日この頃ですが、一日も早くこのコロナ禍が収束を迎え、今年こそしらうめ会の活動が再開されることを願ってやみません。

さて、母校では先生方と在校生の総意工夫による2年ぶりの文化祭と体育祭の開催には何とか学校行事を実施し、少しでも思い出をつくりたいという気持ちが伝わってきました。運動部も様々な大会が中止となる中、野球部やサッカー部、女子バスケットボール部、卓球部、ゴルフ部、ソフトテニス部などが活躍を見せていますし、大学入学試験においても、間もなく多くの合格の連絡を受けることになるでしょう。

新型コロナ発生から3年目、しらうめ会の活動は未来につなげていきたいものです。三密は避けつつも心は親密に、ソーシャルディスタンスを取りつつも、共に歩んでいきたいものです。今後とも皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

永続的に発展する学園をめざして (創立100周年に向けて)



学校長 矢野 正彦

同窓生の皆様には日頃より母校の教育活動の推進に多大なご支援とご理解をいただき心より感謝申し上げます。学校は、コロナ禍で本来の教育活動が制限され困難な日々を送っております。一方で困難だからこそ創造的発想により、新しい教育活動を生み出し、素晴らしい成果を上げています。これは、アクションプラン M'2025にあるスクールミッション（学びに価値を見出し、セルフリーダーシップを発揮できる生徒の育成、多様な価値や人間との出会い、豊かな人間性を涵養する学校の創造）に基づいての結果であると確信しております。出来ないことを嘆くのではなく、何が出来るのかを考え真摯に努力し、同窓生の皆様を始め、地域の皆様にホスピタリティーの精神（思いやりの心）を届けたいとの一心からの思いです。野球部の関東大会初優勝など運動部の活躍は目覚ましく、また進路面でも国公立大学合格者・GMARCHなど難関大学合格者数は顕著なものがあり、全国区の学校になるための堅実な歩みを進めております。通信制も狭域性における全日制併設校の中で日本一の在籍者数を堅持しております。今後とも永続的に母校が発展するためには、引き続き同窓生の皆様の熱く力強いご声援が必要でございます。変わらずのご支援をお願いし、しらうめ会報のご挨拶いたします。

野 球 部

選抜大会出場おめでとうございます！

令和 3 年 9 月に開催された秋季高校野球選抜大会において県大会優勝、関東大会優勝、明治神宮大会への出場を果たしました。そして、この春、4 年ぶりとなる春の選抜野球大会に出場が 1 月。キャプテンの石川ケニー君と金沢監督から今大会の意気込みを伺った。

選抜大会出場を意識し挑んだ秋季大会。「試合に勝ち進むにつれてチームが強くなり、県大会優勝、そして、関東制覇を達成することができ、大変嬉しく思っています。キャプテンとしてチームをまとめ引っ張るうえで前キャプテンの永井さんを目指していて、積極的に声を出すことやチームに声を掛ける姿に尊敬している。」と石川君は話す。明秀日立野球部には、「真の日本一」「一人一役全員主役」のもと練習に打ち込んでいる。野球の技術を上げる以外にも基本的な生活や人間性も誇れる日本一の野球部を目指している。また、一人一人が自主的に取り組む意識を高めることも大切にしている。そして、今年は個性豊かなチーム。まとめるのが大変な時もあるが、その個性を活かした色彩のある強いチームを作ることを意識している。

「選抜大会出場が正式に決まった時は、更に気が引き締まりました。これからの実践的な練習でひとつひとつ質の高い練習を、日本一の練習をしていきます。関東制覇できたのは、永井さんの代や周りの方々の支えや応援によって達成できたことです。関東優勝高としてのプライドと感謝の気持ちを大切に、野球を戦い抜く姿で恩返しをしたいです。」と決意を話してくれました。野球部の活躍を皆さんで応援しましょう！



◀ 金沢監督動画



本校サッカー部初のプロサッカー選手誕生 2人目のプロゴルファー誕生

谷口璃成 ～自分の強みを活かし戦いきれる存在へ～

ひときわ目立つ高身長 194cm を誇るゴールキーパーの谷口璃成君。フジアーノ岡山より内定を得て、明秀日立サッカー部初となるプロサッカー選手となる。香川県出身の谷口君は、本校サッカー部ゴールキーパーコーチである大塚先生に声を掛けられ、香川から約 850km 離れた日立の地にやってきた。大塚先生の「プロにする」という言葉に心動かされ、高いレベルでサッカーをやりたい、どうせやるならプロを目指したいとプロを志した。今、プロとして目指していくのは、「失点のないゴールキーパー」「失点しても立て直せる存在」「チームが戦いきる為に必要な存在」の3本柱だ。憧れを寄せるのが、イタリアのドルマン選手。体格が似ており早いステップが特徴で今の自分に必要なものを持っていると理想像を話し、いつか超えたい存在であるという。

明秀日立での3年間は、部活動はもちろん、グローバルな視野を養うために1年次のインド短期研修に参加した。本人は学校行事から自身の価値観を変えることができたと話す。本校サッカー部監督の萬場監督との出会いも彼を大きく成長させた。萬場監督には、真面目な印象を持ち、若くして約130名の部員をまとめる力や「一つで全部が変わる」という言葉通り、一つ一つを大切に作る姿勢や眼差しは、将来、大人になっていく上で理想像であると尊敬の念を示し、萬場監督の背中を追いかけている。

今まで応援し続けてくれた家族には、「プロサッカー選手として活躍すること、サッカーをプレイする姿で感謝の気持ちを伝えたい。そして、これからも応援してくれる方々には、まだまだ未熟だが、周囲に負けない強さを見せ、結果で恩返しができるように頑張りたい」と決意を語る。これからも谷口璃成君がプロの世界で“挑戦”し続ける姿を見守り、卒業生全員で応援いただければ幸いである。



佐藤心結 ～愛されるプロゴルファーを目指し、世界への挑戦～

佐藤さんがゴルフを始めたのは、趣味でゴルフをしていた祖父の影響。小学校1年生のクリスマスプレゼントにゴルフセットをもらってからずっとプロゴルファーを目指し練習に打ち込んできた。明秀日立での高校生活は、人としてもゴルファーとしても成長することができた。3年次で体育祭が、学校行事で一番の思い出だそう。ゴルフ部総監督の石井さんには、ゴルフの技術だけではなく、プレイする上でのメンタルの作り方などを教わることができた。試合前は、プレイスタート前の2時間前に会場入りをして1時間30分ぐらいのウォーミングアップを行う。憧れのプロゴルファーは畑岡奈紗選手である。一緒にラウンドを回った経験があり、プレイスタイルに目指している点が多いという。尊敬している人物は、プロ野球選手の大谷正平選手である。人間性やアスリートとしてのスポーツマンシップに強く共感を抱き、大谷選手の考え方には、誰からも尊敬され、愛されるプレイヤーになるために必要なことを考えることができたと話す。

プロゴルファーテストに合格してから、新人セミナーの入会式でプロ認定書を頂いた時にプロの実感を持ったという。「プロになれたのは、環境や周囲の方々から恵まれていたからこそ成し遂げることが出来た」と話してくれた。今は、海外メジャーを制覇することが目標であり、畑岡選手や大谷選手のようなプロスポーツ選手を目指している。家族には、長くゴルフに打ち込む環境を作ってくれたこと協力してくれたことに感謝しており、これからプロの世界で大きく活躍し、その姿を見せて恩返ししたい。来年度の開幕戦では、上位を目指す。まずは予選を通過できるように頑張りたいと話す。彼女が世界へ羽ばたく瞬間を楽しみにしたい。



野球部	第 74 回秋季関東高校野球大会 初優勝
サッカー部	第 100 回全国高校サッカー選手権大会茨城県大会 準優勝
女子バスケットボール部	第 74 回 全国高等学校バスケットボール選手権大会 ベスト 16
男子バスケットボール部	令和 3 年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技茨城予選会 ベスト 16
女子陸上競技部	茨城県高等学校駅伝競走大会兼第 30 回関東高等学校女子駅伝競走大会茨城 県予選会兼 第 33 回全国高等学校女子駅伝競走大会茨城県予選会 第 7 位
男子陸上競技部	第 74 回北関東高等学校陸上競技対校選手権大会 出場
バレーボール部	令和 3 年度第 75 回関東高等学校男女バレーボール大会茨城県予選会
ソフトボール部	令和3年度県民総体兼国体茨城県大会兼全国高校総体茨城県予選会 3位
男子テニス部	令和 3 年度第 47 回関東高等学校選抜ソフトテニス大会 3 位
女子テニス部	令和 3 年度全国高等学校総合体育大会ソフトテニス競技茨城県予選会 団体ベスト16 個人ベスト8 百々塚・三代ペア
男子卓球部	令和3年度第49回全国高校選抜卓球大会
女子卓球部	令和 3 年度第 71 回関東高等学校卓球大会 ベスト 8
ゴルフ部	令和 3 年度関東高等学校ゴルフ選手権女子団体準優勝
ダンス部	第 3 回茨城県中高生ダンスコンテスト「THE LIGHT」第 3 位
吹奏楽部	第 27 回東関東吹奏楽コンクール高等学校の部 A 部門 銅賞
書道部	第22回高校生国際美術展 奨励賞
美術部	令和3年度茨城県高等学校総合文化祭美術展覧会入選
コンピューター部	第 35 回全国パソコン技能競技大会（日本語スピード競技の部）個人入賞
文芸部	夜鷹発行
茶道部	風炉薄茶・濃茶点前稽古



宮田川研究会のあゆみ

小泉 智弘 (理科)

活動概要

本活動の開始点は、2019年度に行われた探究活動「Kiwamu Lab.」に端を発したものである。その過程で生物調査を希望する生徒が集まり、教員（小泉）の指導のもと、身近な地域の自然環境である宮田川流域の生物相調査を開始した。同河川は嘗て工業廃水によって汚染され、現在は改善されたものの未だに金属イオンなどの影響は強い。そのため、当初はよくて10種類程度の生物しか見つからないだろうと見込んでいた。しかしながら、本校生徒の調査により、予想に反して約30種類の生物が宮田川で発見された（2021年現在）。

これらの発見は同河川の生物多様性考察にあたって非常に貴重な資料であり、尚且つ工業汚染からどのように河川生態系が回復するのかを考察する、モデルケースともなるだろう。なお、本研究会は日立市環境教育活動支援事業として、日立市環境政策課より助成を受けて活動を行なっている。

生徒の様子

本研究会の生徒達は非常に主体的に活動を行なった。とりわけ、難関な情報処理やパワーポイントの作成などをこなし、遂には本校史上初の学会での研究発表にまで至った。また、河川調査の際に発見されたゴミなどを見逃さず、調査活動と並行してゴミ拾いも行なった。

研究会の活動を通して、研究を最後までやり遂げる芯の強さ、ならびに郷土・自然を愛する心を生徒達の中で育めたと考えている。

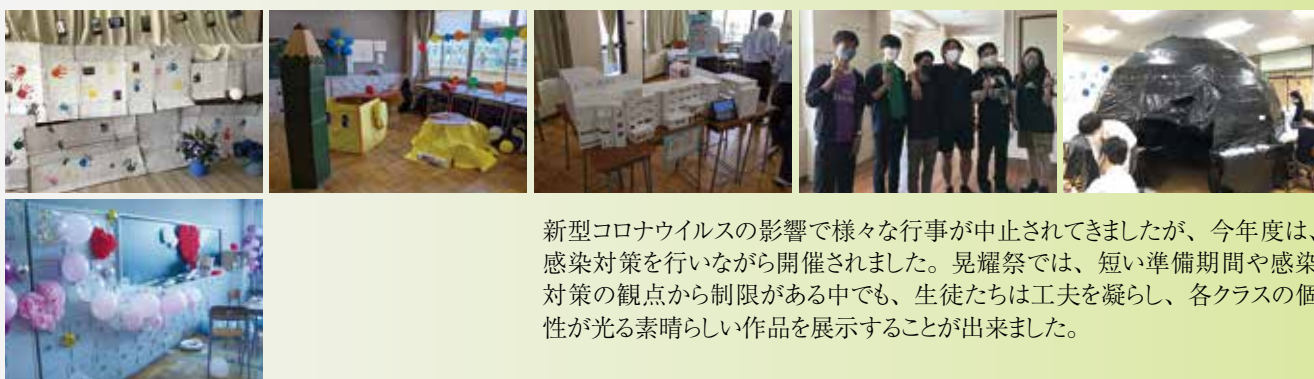
活動の成果など

先述のとおり、宮田川流域においては30種類の生物が生息していることが判明した。中でも特筆すべき点としては、複数の希少種・絶滅危惧種が発見されたことが挙げられる。茨城県レッドデータブックにおいて準絶滅危惧にされているニホンウナギ、および希少種として指定されているボウズハゼなどが発見され、少なくとも6種類の魚類が宮田川流域に生息していることが判明した。また、同河川ではヘビトンボやカゲロウ類、ゲンゴロウ類、プラナリアなど、所謂「きれいな水」に生息する水生昆虫・水生生物が多数発見されており、過去と比較して河川環境が著しく改善されたことが伺える。これらの成果は、以下の研究発表会において公表した（※いずれも生徒によるオンライン発表）。

- ・令和2年度 第14回高校生理学研究発表会
- ・第10回茨城県高校生科学研究発表会
- ・日本生態学会 第68回大会 高校生ポスター発表会

研究発表を外部で行なうということは非常にハードルが高い。この点まで至っただけでも研究会所属の生徒達は、非常に努力を重ねたと言えるだろう。彼らの活躍は私の誇りである。

2年ぶり晃耀祭と体育祭



新型コロナウイルスの影響で様々な行事が中止されてきましたが、今年度は、感染対策を行いながら開催されました。晃耀祭では、短い準備期間や感染対策の観点から制限がある中でも、生徒たちは工夫を凝らし、各クラスの個性が光る素晴らしい作品を展示することが出来ました。

体育祭では、日立市民運動公園陸上競技場をお借りして実施されました。大玉転がし、玉入れ、逃走中、炭酸ジュースリレー、バット回転リレー、クラス対抗リレーなど前から変わらない種目、感染対策で新たに追加された種目と面白みあふれる体育祭となりました。久しぶりの体育祭に生徒だけではなく、先生方も楽しんでいただようです。



進路について

進路指導部長 栗原 英明



2020 年に引き続き、2021 年度もコロナ禍の影響で校内外の進路行事の多くが中止・延期となる状況でのスタートとなりました。例年と大きく異なる状況に不安を感じながらも、ONLINE でのオープンキャンパスや進路相談会などに参加するなどして進路実現を目指す生徒たちの前向きな姿勢に我々教職員も大いに勇気づけられました。生徒たちは将来、変化の激しい予測不能な時代(超高齢社会、AI の発展、グローバル化、新型コロナウイルス等)を生き抜いていかなければなりません。明秀日立の3年間で身につけた、知識・技能とそれらを活用する力を存分に発揮して、生涯学び続け、豊かな人生を送ってほしいと切に願っています。

進学について

昨年度、本校の国公立大学等合格者は51名(含既卒生2名)、私立大学合格者は延べ400名(GMARCH合格者50名を含む)、四年制大学進学率は過去最高の70%でした(文部科学省「令和3年度学校基本調査」によると全国の四年制大学進学率は58.9%)。今年度は、3学年在籍者331名の内、94%の生徒が高等教育機関への進学を希望し、四年制大学への進学希望者は79%に達しています。原稿を執筆している時点(2月8日現在)で、9名の生徒が国公立大学等(茨城大学2名・福島大学1名・釧路公立大学1名・防衛大学校5名)に合格し、私立大学は、二松学舎大学(3名)、立教大学(1名)中央大学(5名)、青山学院大学(1名)等に合格しています。実施2年目となる大学入学共通テストは134名が受験しました。これから国公立大学の個別試験や私立大学の一般入試が行われますが、生徒全員が進路希望を実現してくれると確信しています。今後の合格状況につきましては、本校のホームページにて随時ご報告させていただきます。

就職について

高等教育機関への進学率が上昇傾向にある本校ですが、毎年1割程度の生徒が就職を希望します。今年度は、県内企業188社(昨年度162社)、県外企業186社から求人票をいただきました。16名(昨年度22名)が就職を希望し、全員が内定(含自衛隊3名)を勝ち取りました。新型コロナウイルス感染拡大の影響から非常に厳しい就職活動を強いられると予測していましたが、生徒たちの努力が実を結び、6年連続の就職内定率100%を達成することができました。

おわりに (真の進学校を目指して)

「大学入試センター試験」に代わり「大学入学共通テスト」がスタートして2年が経ち、これまでの「知識・技能」偏重の大学入試から、「知識・技能」に加え「思考力・判断力・表現力」等を総合的に評価する入試に変容を遂げました。それに伴い高校生が在校中に身につけるべき能力も多様になっています。我々教職員一同は、日々の教科指導(探究学習・アクティブラーニング等)や進路指導(従来型+ONLINE)のより一層の充実を図り、「MEISHU DIARY」(オリジナル手帳)を用いた自己管理力の養成や、生徒自身の「振り返り」を強化するポートフォリオの蓄積(Classiを活用)等を通して、「自ら学び、考え、行動できる」人材の育成に努めてまいります。今後とも、同窓会の皆様の変わらぬご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

卒業後の進路

合格実績・内定企業については、QRコードよりご覧ください。





MEISHU HITACHI

明秀学園日立高等学校



令和3年度入試 大学合格実績

国立大学等 東京外国語大学 東北大学
 東京学芸大学 千葉大学 茨城大学 16名
51名 福島大学 2名 茨城県立医療大学 2名
 福島県立医科大学 その他

早稲田・東京理科大学 GMARCH 早稲田大学 東京理科大学 9名
 学習院大学 明治大学 3名
50名 青山学院大学 2名 立教大学 4名
 中央大学 18名 法政大学 12名
 二松学舎大学 5名
特別提携校

特進 ST・S コース

学校+予備校+家庭教師

受験に特化したカリキュラムや一流予備校講師によるプレミアム課外、充実した個別指導により、国公立・難関私大合格を実現します。

特進 A コース

文武両道

適性を知り、多様な可能性を見出す自己探求課外。勉強と部活動を両立しながら目標を見つけ、国公立・有名私大への合格を実現します。



明秀日立の進化はとまらない。

2022年度

特進 ST コース入学

2023年度

特進 ST コース 2 年生

GS コース 2 年生



VR を用いたサイエンス教育を共同研究・開発しています

ホームページ & ブログもチェック！

公式ホームページや入試情報を配信する「入試情報ブログ」
部活動のことがわかる「部活動公式ブログ」で
明秀日立の今を知ることができます。

通信制

「Smile&Smile」のスローガンのもと、
これからの社会に必要な力をつけられるよう
様々な取り組みをしています。

〒317-0064 茨城県日立市神峰町 3-2-26
TEL 0294(21)6328 FAX 0294(21)6341

HP トップ
はこちら



入試情報
ブログ
はこちら

